

## 平成31年度 第2層増田地域協議体 「支えあいますだまっぷ」の取り組み

### ○構成員

共助組織代表、福祉施設職員、在宅保健師、商工会青年部、市職員など（13名）

### ○定例会開催回数

平成27年度…1回、平成28年度…11回、平成29年度…11回、  
平成30年度…10回、令和元年度…3回

### ○生活支援協議体(協議体)の取り組み

地域には様々なつどいの場がある一方で「交流する機会が少ない」「どんな活動があるのかわからない」との住民の声も多い。このことから、既存のつどいの場を知ることで社会参加に繋がるように、また、参加者が増えることで各団体の活動がより活性化するように、地域の交流活動の情報を地域局の1階に設置した大型の「まっぷ」に掲示し、情報発信を行っている。なお、住民が主体となり運営されているつどいの場の視察などを行いながら、地域の実情に応じたつどいの場づくりについても検討を進めている。

#### 《主な取り組み》

##### ①「ますだまっぷ」によるつどいの場の周知

住民同士の交流を深める趣味活動の団体やサークル、いきいきサロンや福祉団体を構成員個々に情報収集した。また、情報を「支えあい ますだまっぷ」により発信することで、参加者を募る団体等と活動へ参加したい住民がつながるように取り組んだ。



～支えあい ますだまっぷ～

##### ②つどいの場に関する視察研修

つどいの場を通した社会参加の機会が充実した地域づくりにつなげるため、住民が主体となり運営されている美郷町の「まめだ屋」を視察し、取り組みを始めたきっかけや運営方法、世話人体制などを学んだ。



～視察研修の様子～